

JIS

情報技術－バイOMETリック性能試験及び 報告－第2部：テクノロジー評価及びシナリオ 評価の試験方法

JIS X 8101-2 : 2010
(ISO/IEC 19795-2 : 2007)

平成 22 年 2 月 22 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 情報技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	石 崎 俊	慶應義塾大学
(委員)	秋 間 升	財団法人日本規格協会
	浅 野 正一郎	国立情報学研究所
	大 石 奈津子	財団法人日本消費者協会
	大久保 彰 徳	社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
	大 蒔 和 仁	東洋大学
	笥 捷 彦	早稲田大学
	加 藤 泰 久	日本電信電話株式会社
	木 戸 彰 夫	日本アイ・ビー・エム株式会社
	後 藤 志津雄	株式会社日立製作所
	佐 野 眞 一	社団法人電子情報技術産業協会
	関 根 千 佳	株式会社ユーディット
	高 橋 真理子	財団法人日本情報処理開発協会
	田 中 宏	総務省
	中 山 康 子	東芝総合人材開発株式会社
	橋 本 敏	総務省
	平 野 芳 行	日本電気株式会社
	伏 見 諭	社団法人情報サービス産業協会
	藤 村 是 明	独立行政法人産業技術総合研究所
	宮 澤 彰	国立情報学研究所
	山 田 隆 人	日本銀行金融研究所
	山 本 喜 一	慶應義塾大学
	渡 辺 裕	早稲田大学
(専門委員)	安 藤 栄 倫	財団法人日本規格協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 22.2.22

官 報 公 示：平成 22.2.22

原案作成協力者：財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：情報技術専門委員会 (委員長 石崎 俊)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成協力者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット情報電子標準化推進室(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 E-mail:qqgcbd@meti.go.jp 又は FAX 03-3580-8625)にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 適合性	1
3 引用規格	2
4 用語及び定義	2
4.1 バイオメトリックデータ	2
4.2 バイオメトリックシステムの構成要素	2
4.3 バイオメトリックシステムと利用者との相互作用	2
4.4 精度評価尺度	4
5 テクノロジ評価及びシナリオ評価の概要	4
6 テクノロジ評価	6
6.1 試験の設計	6
6.2 適切な試験コーパスの編成	9
6.3 性能測定	13
6.4 報告方法	17
7 シナリオ評価	19
7.1 試験の設計	19
7.2 被験者集団	25
7.3 性能の測定	26
7.4 報告方法	28
8 テクノロジ評価及びシナリオ評価に適用可能なその他の諸問題	30
8.1 試験の各当事者	30
8.2 公平性	31
8.3 試験システムに含まれる基礎的事項	31
8.4 FAQ の使用	32
8.5 法的諸問題	32
8.6 試験ソースコードの公表	32
8.7 試験報告書に関する装置提供者のコメント	32
附属書 A (参考) 主要なテクノロジ試験タイプに対する段階及び行為	33
附属書 B (参考) 提示, 入力試行及びトランザクション間の関係	40
附属書 C (参考) 取組みレベルの報告方法	41
附属書 D (参考) クライアントサーバ試験方法	43
附属書 E (参考) 複数システムの試験における評価結果のシステム横断的比較	45
附属書 JA (参考) モダリティ特定の試験	46
参考文献	66
解 説	67

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づき、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

JIS X 8101 の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS X 8101-1 第 1 部：原則及び枠組み

JIS X 8101-2 第 2 部：テクノロジー評価及びシナリオ評価の試験方法

情報技術－バイオメトリック性能試験及び報告－

第 2 部：テクノロジー評価及び シナリオ評価の試験方法

Information technology－Biometric performance testing and reporting－ Part 2: Testing methodologies for technology and scenario evaluation

序文

この規格は、2007年に第1版として発行された **ISO/IEC 19795-2** を基に、技術的内容及び対応国際規格の構成を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項及び**附属書 JA** は、対応国際規格にはない事項である。

1 適用範囲

この規格では、二つの重要な評価方法、すなわち、テクノロジー評価及びシナリオ評価に特有なデータ収集、データ分析及び報告書の作成に関する要求事項及び推奨事項について規定する。

この規格では、次の分野に関する要求事項を具体的に規定する。

- － テクノロジー評価及びシナリオ評価のための試験規約の展開及び詳細な説明
- － バイオメトリック評価種別に関連するパラメタを反映するバイオメトリック評価の実施及び報告。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO/IEC 19795-2:2007, Information Technology－Biometric performance testing and reporting－Part
2: Testing methodologies for technology and scenario evaluation (IDT)

なお、対応の程度を表す記号 (IDT) は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、一致していることを示す。

2 適合性

試験は、この規格のテクノロジー評価箇条又はシナリオ評価箇条に適合しなければならない。

シナリオ試験に適用する一連の箇条は、テクノロジー試験に適用する一連の箇条とは異なる。さらに、識別システムの試験は、照合システム試験に適用する一連の箇条とは異なる箇条を適用する。この規格に従うために、評価は**表 1** に示すこの規格の各箇条を遵守しなければならない。